



令和7年7月31日

園 だ よ り

たかがみねこども園

夏の空がまぶしく感じられるこの季節。子どもたちは、暑さに負けず元気いっぱい過ごしています。夏ならではの体験を通して、心も体も大きく成長していく姿が楽しみです。

健康管理に気をつけながら、今月も一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

～ 8月の目標 ～

☆ 規則正しい生活を送りましょう

早寝・早起きを心がけて、毎日を元気に過ごしましょう。朝ごはんをしっかり食べて、夏バテを防ぎ、体調を崩さないようにしましょう。

☆ 感じたことを素直に表現しよう

夏ならではの体験を通して、「たのしい!」「びっくりした!」など、自分の気持ちを言葉にしたり、絵で表したりしながら、思いきり表現することを楽しみましょう。

感じる力と伝える力を伸ばそう

先月は『五感を使った体験で感じたことを伝えよう』で「見て、聞いて、触って…」と、五感で感じたことをたくさん言葉にしてみるこの大切さをお伝えしました。また、幼児組になると、毎日の出来事を「文章で話す」練習も大切になってくるというお話もさせていただきました。

今月は、子どもの年齢に応じた『話す文の数』と『話すときのポイント』についてご紹介します。

【年齢に応じた「文の数」を意識】

話す力は、年齢に応じて少しずつステップアップしていきます。

年少（3～4歳）→1文

年中（4～5歳）→2文

年長（5～6歳）→3文

このように段階を踏むことで、無理なく自然に『伝える力』が育っていきます。

【話すときの3つのポイント】

話す内容を「3つの文」にわけて考えると、話の流れがわかりやすくなります。

1. 『1文目』いつ・どこで・誰と・何をした？

⇒「今日は園で、〇〇ちゃんと折り紙をしたよ」

2. 『2文目』何があった？どんなことをした？ 一番伝えたいこと（出来事の内容）

⇒「鶴を折るのは難しかったけど、教えてもらったらできるようになったよ」

3. 『3文目』どう思った？これからどうしたい？ 気持ちや次にやりたいこと

⇒「今度は折り紙で〇〇も作ってみたいな」

大きくなると、人との関わりのなかで言葉によるコミュニケーションが大切になってきます。毎日のちょっとした会話のなかで、子どもたちが『自分の思いや体験を伝える楽しさ』を感じられるようにしていけるといいですね。